

# MECCだより

武蔵野・多摩環境カウンセラー協議会広報紙 第8号 2005年6月

## 主な内容

### ○平成17年度事業

事業一覧 ..... 2  
執行部役員一覧 ..... 4

エコアクション21 ..... 1  
環境教育 ..... 3  
神田川サミット ..... 3

## ごあいさつ

理事長 高橋 博良

平成17年度、新年度は5月12日の総会終了時から実質始まりました。17年度は事業展開の年になります。16年度は「災いの年」でしたね。地球規模で、アジアの国々で、国の内外で、関西の電車事故で「ストップザ・災い・」にしたいものです。

3月25日から「愛・地球博」が始まりました。30年前、大阪千里丘に岡本太郎の「太陽の塔」が聳えたあの時以来です。会場は、あい(愛)ち(知・地)県、瀬戸・長久手両会場、アク

セス交通網が見ものです。リニアモーターカー、無人モノレール、JR名古屋から1時間のようです。9月までに、一度は、足を運んで「愛・地球博」を満喫しては如何ですか？

21世紀も5年目になりました。平成17年度は環境の世紀に相応しい年に・・とっています。

どうぞ武蔵野・多摩環境カウンセラー協議会をご支援頂き、皆様力を合わせて住みやすい東京・日本を作りましょう。今年もよろしく願います。

## 《平成17年度事業》

### エコアクション21

武蔵野市からの委託事業は今年度も引続き行われ、近隣の市への働きかけも活発です。一昨年行われた小平市を始め立川市、八王子市が対象になっています。一般企業からの受注も本格化し営業活動に弾みがついています。或る企業では全国200近い事業所が一斉にEA21取得に動き出し、MECCもその一部を引き受けています。このような規模の事業では全国的な連携が必要です。そのための情報伝



達の仕組づくりには細心の注意が必要ですが、特に日本人はこの能力に関して他国と比べて何とも心許ないレベルにあることは留意すべきです。MECCの審査人は7人となり審査業務への体制としては他団体に引けを取りません。MECCはEA21普及活動にコンサルタントも合わせて11人体制で臨みます。(宇野 記)

エコアクション21 (EA21) : 環境配慮経営ガイドラインに基づく認証・登録制度 (環境省策定)

## 平成17年度事業一覧

事業名	事業内容	実施期	実施場所	受益対象者の範囲及び人数
EA21関係	武蔵野市環境講座	17.11	武蔵野市	対象企業全般 約 500人
	EA21立川、八王子プロジェクト	17.11-	立川市 八王子市	市役所職員 約 1000人
	個別事業者指導	17.5-18.3	企業、組織	対象事業者全般 約150人
	EA21審査人活動	17.5-18.3	企業、組織	対象企業全般 約150人
環境相談 環境教育	武蔵野市GP事業(*1) 相談会(*2)	17.4-18.3	武蔵野市	対象企業全般 約 500人
調査	環境教育調査	17.4-18.3	—	市民全般
市民活動	神田川サミット	17.9	神田川	市民 約50人
	ブルーギル生態調査(*4)	17.7-17.9	井の頭	市民 約50人
	都・研究員との懇談	17年度	—	市民 約50人
	環境大臣普及省エネ講座	17.6-18.3	市民団体	市民 約300人
	シンポジウム開催(*5)	17年度	武蔵境	市民 約50名
	見学会開催(*3)	17年度	東京湾	市民 約30名
広 報	会報発行	17年度	—	約300人
	ホームページ維持	17.4-18.3	—	約 500人
	PRパンフレット	17.5	—	会員 30名
会員強化 活動	会員勧誘、相互学習	17.8-18.3	武蔵野・ 多摩地域	会員 30名

\*1: GP事業 : グリーンパートナー事業

### \*2 相談会

グリーンパートナーの制度が発足して3年目、市側の都合で一部変更し、相談日は半分の年6回になりました。5/13、7/8、9/9、11/11、1/13、3/10(金)13時30分～16時30分、会場は武蔵野市役所です。

(高橋 記)

### \*3 見学会

年間に2回ほど都内、または近隣の見学地を提案していただき、協議会独自、若しくは友好団体と共同で実施すべく、ご意見をお待ちしています。見学地、見学方法など、情報提供よろしく。

(高橋 記)

### \*4 ブルーギル調査

ブルーギル調査は神田川の水源である井の頭池にて釣りによる定点観測調査を実施致します。日程は7月15日～9月30日の間で4日間(午前または午後)行います。(糸井 記)

### \*5 '06新春シンポジウム

第2回を企画しています。テーマは『家庭のできる省エネ対策』、内容は、オール電化生活と燃料電池を取り上げ、家庭生活内で活用するための卓越した工夫を習得していただきたいと願ってのシンポジウムです。(高橋 記)

## 環境教育

### <行政サイドの方針>

第1に、平成17年10月、完全施行となった「環境教育推進法」(\*1)は環境省と文部科学省は主務を担当するとはいえ、農林水産、経済産業、国土交通を含めた5大臣の署名がある「国家的方針」であることで従来の法律と全く趣を異にしている。

第2に、地域の環境教育推進の具体的実務については環境省地域調査官事務所を通して地域の団体が協力するシステムを想定しており、学校への講師派遣や市民団体への省エネ行動など環境保全意識の高揚（「我が家の環境大臣」プロジェクト(\*2) など）の活動は同上事務所が環境カウンセラーブロック協議会、地域協議会などと相談しながら進められ、所要経費も賄われることになっている。

### <活動現場での地域格差>

しかし地域団体は我々環境カウンセラーだけ

でなく既に活躍し、または活躍しようとしている他団体も対象であり、その活躍の度合いによって活用は大きく変化する。実際、環境教育に関する私の3年間の経験からも地域性が極めて大きく、群馬、新潟、埼玉など教育団体と密接な関係を持ち着実な成果を挙げている地域に比べて、東京は具体的な成果に乏しい。要は「口」でなく、行動であり、関係先から如何に信頼を得ているかと言う実績である。

### <MECCの方針>

しかし本当はMECCとして情報を把握していないだけで東京多摩地域でも環境教育に関する成果を挙げているのかもしれない。誰が、何を、どのように行っているか、今後何処で、何を、誰ができるか、信頼される指導者レベルを持つ人はどれだけいるのかのデータを整備することでこの分野におけるカウンセラー個人個人のクオリティの向上を図りたい。（富川 記）



\* 1: 環境教育推進法：環境の保全のための意欲の増進及び環境教育推進に関する法律

\* 2: 環境省事業。家族などの小さなグループによる身近な環境問題に取り組む事業。

## 神田川サミット 2005

本年度の神田川サミットは川を生かした“まちづくり”をテーマに、飯田橋交差点の再開発構想を中心に開催致します。

- ・ テーマ：「第14回神田川サミット2005 at 接点」 ～川と道と文化の交わる所～
- ・ 日 時：平成17年9月25日（日）
- ・ 場 所：法政大学 ボワソナートタワー 26階スカイホール  
（JR市ヶ谷駅または飯田橋駅より5～6分）
- ・ 参加費：1,000円（資料代を含む）
- ・ プログラム 10:00～12:30 ウォーキング  
13:30～16:30 シンポジウム  
17:00～18:00 交流懇談会（会費別途実費）
- ・ 後援：東京環境カウンセラー団体連合会



## 執行部役員

理事長	高橋 博良	理事(広報担当)	宇野 哲夫
副理事長(総務担当)	川真田 直之		泉 浩二
理事(企画担当)	藤井 健史	理事(立川支部)	藤野 良洋
	糸井 守	理事(八王子支部)	稲田 昂
理事(会計担当)	松島 正	監事	富川 昌美
理事(渉外/東京)	坂井 丈夫		石田 義彦

## ホームページ紹介

わが武蔵野・多摩環境カウンセラー協議会のホームページについて紹介します。

アドレスは、<http://www.mecc.or.jp/> となっており、組織案内、活動内容、行事案内などを載せています。有料にてサーバーを借用しており、一般または会員に公開するデータの保管庫にもなっています。ホームページにはどなたでもご自由にアクセスしてご覧頂きたいと思えます。

会員の方にとっては専用コーナーを設けて、月例会議事録など掲載しています。会員専用コーナーにアクセスするためにはIDとパスワードが必要です。ホームページの作成にあたっては最初からこれまで川真田副理事長にお世話を頂いています。平成17年度には泉さん、稲田も作成に加わって川真田さんの負担を軽減すると共に一層充実していきたいと思っています。

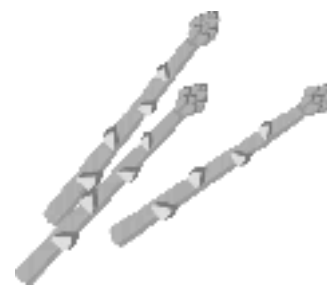
(稲田 記)

## 編集後記

今回は平成17年度事業計画特集です。筆者にとってMECCの事業計画に関わるのは3回目、それを広報するという立場にいと年々事業基盤が固まってく姿がよく見え、精神衛生上も非常によろしい。環境カウンセラーの社会がどの様に変化していくかに興味をお持ちの方には広報担当をお勧めします(常時募集しております)。広報担当は今回から2名、つまり陣容が倍になった訳です。編集会議をしていると、

2つの目より4つの目の方が確かに違うことがよくわかり、広報活動もまた変化していくと思えます。

(宇野 記)



発行者：NPO武蔵野多摩環境カウンセラー協議会(MECC)事務局  
180-0023 武蔵野市境南町 1-30-1      Tel&Fax : 0422-31-7200  
電子メール：QWK11724@nifty.ne.jp  
ホームページ：http://www.mecc.or.jp